

第45回カラーコーディネーター検定試験1級第1分野

級		合計	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
第1分野	配点	100	10	10	5	10	10	5	10	5	10	25
	平均点	59.8	5.3	6.3	2.9	7.3	7.1	4.3	7.2	4.8	4.6	10

設問	設問	解答
1-1	ア	1
	イ	2
	ウ	9
	エ	4
	オ	7
1-2	ア	2
	イ	3
	ウ	3
	エ	1
	オ	3
2-1	ア	2
	イ	3
	ウ	2
	エ	1
	オ	3
2-2	ア	1
	イ	1
	ウ	4
	エ	3
	オ	1
3	ア	3
	イ	3
	ウ	4
	エ	1
	オ	4
4-1	ア	1
	イ	1
	ウ	2
	エ	2
	オ	2
4-2	ア	1
	イ	4
	ウ	3
	エ	3
	オ	3

設問	設問	解答
5-1	ア	3
	イ	4
	ウ	1
	エ	2
	オ	3
5-2	ア	2
	イ	2
	ウ	4
	エ	1
	オ	2
6	ア	3
	イ	1
	ウ	3
	エ	1
	オ	1
7-1	ア	2
	イ	1
	ウ	2
	エ	1
	オ	4
7-2	ア	4
	イ	2
	ウ	1
	エ	3
	オ	4
8	ア	2
	イ	3
	ウ	1
	エ	3
	オ	4

第45回カラーコーディネーター検定試験1級第2分野

級		合計	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
第2分野	配点	100	10	10	5	10	10	5	10	5	10	20
	平均点	68.3	6.4	5.7	3.4	6.3	8.7	4	8.5	4.7	5.5	15

設問	設問	解答
1-1	ア	3
	イ	5
	ウ	11
	エ	10
	オ	12
1-2	ア	4
	イ	3
	ウ	4
	エ	1
	オ	2
2-1	ア	6
	イ	8
	ウ	12
	エ	4
	オ	10
2-2	ア	3
	イ	1
	ウ	2
	エ	4
	オ	1
3	ア	3
	イ	4
	ウ	2
	エ	1
	オ	4
4-1	ア	2
	イ	1
	ウ	4
	エ	3
	オ	2
4-2	ア	5
	イ	13
	ウ	15
	エ	7
	オ	2

設問	設問	解答
5-1	ア	7
	イ	2
	ウ	13
	エ	8
	オ	6
5-2	ア	14
	イ	3
	ウ	8
	エ	10
	オ	12
6	ア	10
	※イ	11
	※ウ	15
	エ	14
	オ	4
7-1	ア	5
	イ	4
	ウ	7
	エ	3
	オ	10
7-2	ア	14
	イ	9
	ウ	5
	エ	13
	オ	16
8	ア	2
	イ	3
	ウ	1
	エ	3
	オ	4

※6-イ・ウは順不同です

第45回カラーコーディネーター検定試験1級第3分野

級		合計	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
第3分野	配点	100	10	10	5	10	10	5	10	5	10	25
	平均点	64.5	6.3	8.4	3.6	5.4	7.2	3.7	7	4.6	4.9	13.3

設問	設問	解答
1-1	ア	2
	イ	3
	ウ	3
	エ	3
	オ	1
1-2	ア	4
	イ	1
	ウ	4
	エ	4
	オ	3
2-1	ア	3
	イ	9
	ウ	6
	エ	12
	オ	14
2-2	ア	4
	イ	14
	ウ	11
	エ	3
	オ	7
3	ア	8
	イ	12
	ウ	2
	エ	7
	オ	5
4-1	ア	14
	イ	6
	ウ	15
	エ	4
	オ	10
4-2	ア	2
	イ	2
	ウ	4
	エ	2
	オ	4

設問	設問	解答
5-1	ア	4
	イ	3
	ウ	2
	エ	1
	オ	4
5-2	ア	1
	イ	2
	ウ	3
	エ	4
	オ	1
6	ア	1
	イ	2
	ウ	3
	エ	4
	オ	1
7-1	※ア	2
	※イ	4
	※ウ	8
	※エ	9
	※オ	14
7-2	※ア	3
	※イ	5
	※ウ	8
	※エ	9
	※オ	13
8	ア	2
	イ	3
	ウ	1
	エ	3
	オ	4

※7-1は順不同です。
 ※7-2は順不同です。

第45回カラーコーディネーター検定試験1級

【第9問】1級（第1分野～第3分野）共通論述問題採点基準

【問題】（200文字以内）

- 1) デパートでその色が気に入って買った洋服を、自宅で見たら別の色に見えたこと。
 - 2) 自分の顔の色はどの照明でも色が変わって見えないとの印象があること。
- 1) と 2) について説明しなさい。

【模範解答例】

照明光の分光エネルギー分布が変化すれば、それに伴い物から反射する光の分光分布も変化し、この反射した光で知覚が決まる。ある光源が物の色の見えに与える影響を演色性といひ1)はこの例である。一方、照明光が変化してもその色が変わったと知覚しない現象は色の恒常性で2)はこの例である。演色性の影響は低彩度の色で観察されやすく、恒常性は肌色などの私たちがよく知っている物の色で観察されやすい。

【第10問】 1級（第1分野） 論述問題採点基準

【問題】（500文字以内）

下記の図表 A は 2017AW および 2018AW のトレンドカラー高出現色をまとめたものである（各トレンドブックで提案しているレディス・トレンドカラーを集計）。また、図表 B は 2017AW のレディスウェアの売れ筋色をまとめたものである（実シーズン中である 2018 年 1 月に行った店舗に対するヒアリング結果を集計）。

下記の(1)および(2)について、500字以内で述べなさい。

- (1) 図表 A から、2017 年から 2018 年にかけての、トレンドカラーの変化について
- (2) 図表 A と図表 B から、2017 年のトレンドカラーと実際のマーケットにおけるカラー動向の関係について

【模範解答例】

- (1) 2017AW のトレンドカラーは、1 位のダークグレーを含む上位 5 色がすべて無彩色またはダルトーンの色であった。一方、2018 年 AW では、前年から大きく増加したグレーが他を引き離しての 1 位となり、上位 5 色の中にワイン、ネイビー、こげ茶といったダークトーンが入るなど大きく変化している。中でも新しく登場したスカイブルーは注目すべきであり、ネイビー、ダルブルー、青も含め、ブルー系が増加している。その反面、赤やグレイッシュピンク、モーブは減少した。
- (2) 2017 年の実際のマーケットでは無彩色やネイビー、ベージュといった定番色が上位を占め、上位 6 色で約 75% に達している。ビビッドトーンも含めた幅広い色が出現し、黒や白、ベージュが上位にランクされないトレンドカラーとは様相が異なる。また、トレンドカラーには見られないオリーブや黄も出現している。しかし、2017AW のトレンドカラーで上位であるダークグレー、モーブ、ワインが実際のマーケットでも揃って前年から増加するなど関係性もみられる。生活者は着こなしが容易な定番色を選択しながらも、適度にトレンドを取り入れファッションカラーを楽しんでいるように思われる。
(498文字)

【評価のポイント】

与えられた各グラフの特徴について、また相互比較した場合の差異について適切に記述できていること、また、トレンドカラーと実際のマーケットの差異に関して、カラーコーディネーターの視点による考察ができていることが評価のポイントである。以下に重点加点ポ

イントを示す。

本問題は、テキスト「第7章 第3節 流行色の分析と管理」「第8章 第3節 ファッションビジネスにおけるカラー関連機関と色彩情報」に関連する出題である。

(1) 図表Aから、2017年から2018年にかけての、トレンドカラーの変化について

- ①2つのグラフの特徴並びに差異が正確に記述できているか？
- ②個々の色の変化を羅列するだけでなく大局的な考察ができているか？

例：

- ・2017年は上位5色が無彩色またはダルトーン
- ・2018年はダークトーンが上位に進出
- ・グレーが2位以下に差をつけての1位に進出
- ・スカイブルーの進出も含め、ブルー系の躍進 など

なお、変化の原因についての考察には加点したが、その根拠に説得力が乏しい場合には加点を行わなかった。また色彩学的に誤った記載についても加点を行わなかった。

(2) 図表Aと図表Bから、2017年のトレンドカラーと実際のマーケットにおけるカラー動向の関係について

- ①2つのグラフの特徴並びに差異が正確に記述できているか？
- ②個々の色の変化を羅列するだけでなく大局的な考察ができているか？
- ③トレンドカラーと実際のマーケットの差異について論理的な考察ができているか？

例：

- ・実際のマーケットでは無彩色やネイビー、ベージュといった定番色が上位を占有、上位6色で約75%に達する
- ・トレンドカラーには見られないオリーブや黄も出現
- ・トレンドカラーでは、ビビッドトーンも含めた幅広い色がまんべんなく出現、黒や白、ベージュが上位にランクされない
- ・2017年のトレンドカラーで上位であるダークグレー、モーブ、ワインが実際のマーケットでも揃って前年から増加するなど関係性もみられることからトレンドカラーの把握は重要
- ・生活者は、基本的に着こなしが容易で、コーディネートしやすい定番色を選択
- ・一方で、適度にトレンドカラーの要素を取り入れている

なお、2017年の実際のマーケット状況が2018AWのトレンドカラーに与える影響について考察している回答が散見されたが、トレンドカラーは主に実シーズンの18か月前までに発表されるため、誤りであり、加点を行わなかった。

(3)その他

文章全体としてのまとまりや論旨の一貫性を総合的に評価し、テキストに記載がない内容であっても、正しく、論理性がある記載に関しては加点を行ったが、誤った記載や個人の主観的な意見、感想に対しては加点を行わなかった。

【第10問】 1級（第2分野）論述問題採点基準

【問題】（500文字以内）

菓子メーカーの商品企画を担当するあなたは、新発売するチョコレートのパッケージデザインをデザイナーに依頼することになった。あなたがデザイナーに必ず伝えなければならない項目を挙げ、それぞれについて内容を簡潔に説明しなさい。

【評価のポイント】

ここでは、カラーコーディネーターが商品企画を担当しており、具体的なデザインを担当するデザイナーに新発売のチョコレートの企画を伝える状況を想定している。

先ずもっとも大切なのは、新しい商品が表現すべきコンセプト＝メッセージである。当社ラインナップの中の位置付け、新商品の特徴と狙い、さらに自社のアイデンティティーをどの程度表現するかどうかなどの大枠を伝えること。

次に、自社のこれまでの販売の様子、問題点、改善が求められる点などに加えて、マーケット全体、周辺の外的状況として、他社の類似商品の販売状況、近年の類似商品のデザイン傾向、また対象商品以外の商品の影響や新しい技術の傾向なども説明すること。

新しい商品の魅力をどのように表現してもらいたいのか、視覚的魅力など企画した内容とデザインの方向性についてデザイナーと意見交換しておくことも大切である。

それらは、第5章7節：パッケージデザインの表現にある、色の機能（誘目性、識別性、現実性、連想性、流行性、嗜好性、審美性、信頼性など）に関することがその内容である。

テキストの全般に関係するが、特に第1章～第3章と第5章（7P～54P、179P～320P）の内容をうまく組み合わせて表現して欲しい。

【第10問】 1級（第3分野）論述問題採点基準

【問題】（500文字以内）

日本において、あなたが美しい街並み景観と思われる事例を一箇所あげて、その場所を美しい景観として評価する理由について具体的に論述しなさい。

【模範解答例】

私は島根県萩市の伝統的景観保存地区をあげます。その地区は住居や道路空間が伝統的建築様式の建物と街並みで構成されている。その日本の伝統的建築を基本として、伝統的材料を使用しながらの景観形成に努めている。このことによって環境色彩の統一が図られていることは言うまでもない。塀なども製作当時の工法や材料を使用して伝統の継承に努めている。

生活空間でもあることから、インフラなどの設備等も極力、伝統的材料に近いものを選択、下水のグレーチングやマンホールなども周辺環境に調和するように塗装や形状に配慮している。電柱などは地下埋設に変更し景観阻害要素を無くす努力をしている。このような配慮によって美しい街並み景観が形成されている。この場所は新しく開発された街並みではないことから、ベースになる伝統的建築様式を拠り所に街並み形成されている利点はあるもののそれを継承していく努力が見える。このように美しい景観づくりは、景観条例で定めることによって枠組みは形成されるが、住民や地区の理解と不断の努力によって形成されることが判る。

【評価のポイント】

解答者の景観に対する考え方や視点、評価の着目点などを知ることによって、景観に対する知識や見識を読み取ることができる。景観構成要素や環境色彩、材料、伝統などに言及していることが望ましい。